

令和7年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

	育成を目指す資質・能力	児童・生徒の実態を踏まえた課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 ・自分の思いや考えが明確になるように、文章を書くこと。	・叙述を基にして理由を相手に伝えること。 ・自分の考えを文章にした際に、相手に分かりやすく伝わるように書くこと。	・朝学習や休み時間などを通して日頃の読書活動を充実させる。学習の中で、叙述を基にした理由を問い、意識できるようにする。 ・ペア学習やグループ活動の中で友達の文章に触れることで、分かりやすい文章に対する視点を持たせる。
算数	・繰り下がりのある計算をすること。 ・わり算の立式と計算をすること。	・大きい数の筆算の繰り下がり計算を理解すること。 ・児童によっては、問題と式を関連付けて、立式すること。	・宿題や朝学習などで課題のある児童を把握し、個別に指導する。定着させるために宿題などで繰り返し計算に取り組む機会をつくる。 ・問題と式と図を関連付けて、立式の根拠を説明する指導を積み重ねる。
理科	・自然の事物・現象について「理科の見方・考え方」を働かせ、問題解の過程を学び、身に付けること。 ・差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現すること。	・理科の見方・考え方を意識して取り組むこと。 ・事象・現象を比較して考えること。	・問題解決の課程を身に付けさせるために、ノート指導を丁寧に行う。 ・比較できるように2つ以上のものを提示し、共通点や差異点に気付かせる。
社会	・調査活動、地図帳や各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめること。 ・社会に見られる課題を把握して、社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことを表現したりすること。	・資料を見ても必要な情報を読み取ること。 ・児童が自分と社会との関わり方を考えること。	・地図や資料に触れる機会を増やし、体験したことを基に考えさせる指導を積み重ねる。 ・単元ごとの振り返りを行い、社会との関わりに対して考えるための視点を提示し、児童が自分の考えを表現した際には、認めていく。